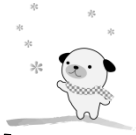


わくわくとしょかん

第119号(2012年冬号)編集発行:福島市立図書館児童室 でんわ531-6551



ふゆのおたのしみかい



12がつ8にち(土)2:00~3:30 ばしょ 3かい かいぎしつ

フ ロ グ ラ ム

すばなし❄️たぬきのたいこ

ブックトーク❄️しましま

にんぎょうげき❄️ももたろう

工作❄️とらくんのさんぽ

かけえ❄️ふしぎな三人兄弟

みんなであそび
にきてね♪



☆☆ おはなしかいのお知らせ ☆☆

どうようびのおはなしかい

🎵 まいしゅう どうようび

🕒 1ぶ 2:30~(4さいから)

2ぶ 3:00~(しょうがくせい)

🌟 1かい じどうしつ

おひざにだっこのおはなしかい

🎵 まいつき だい3もくようび

🕒 10:30~

(3さいまでおこさんとほごしや)

🌟 1かい じどうしつ

ファミリーえいがかい

🎵 まいつき だい2にちようび

🕒 2:00~

🌟 3かい かいぎしつ



としょかんカレンダー

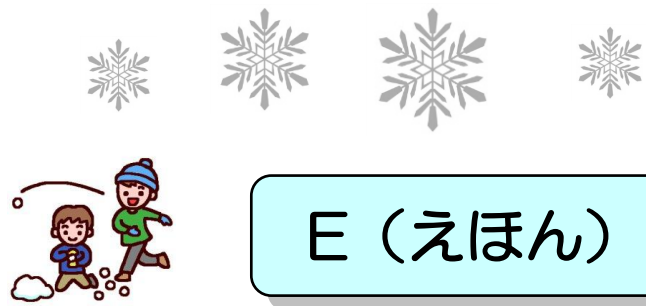


日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	(4)	5	6	7	8
9	10	(11)	12	13	14	15
16	17	(18)	19	20	21	22
23	24	(25)	26	27	28	29
30	(31)					

日	月	火	水	木	金	土
		(1)	2	3	4	5
6	7	(8)	9	10	11	12
13	14	(15)	16	17	18	19
20	21	(22)	23	24	25	26
27	28	(29)	30	31		

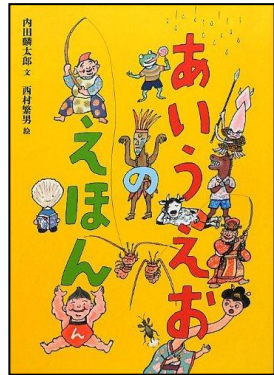
□…市立図書館・蓬莱・清水・吾妻・飯坂・もちずり・北信学習センターはおやすみです。
 ○…子どもライブラリーはおやすみです。
 ※その他の学習センターについては各図書室にお問い合わせください。

あたらしいほん



E (えほん)

『あいうえおのえほん』(E ニシム)
うちだ りんたろう / 文 にしむら しげお / 絵 童心社



「あまがえる あめより あめの あまやどり」「いばった いかだ いかにも いかにも」「うしの うしろで うたうま うまい」など、ユーモアたっぷりのあいうえおさくぶんをたのしいイラストでしようかい。

おもしろおかしいことばあそびえほん。

『スプロケットおばさんのポケット』(E ブレイ)
クエンティン・ブレイク / 作 たにかわ しゅんたろう / 訳 好学社



おとなりさんのスプロケットおばさんのコートにはポケットがいっぱい。ポケットからは何でも出てくる。ねずみにかさ、くるまのホーン、アイスクリームやドリンク、ぞうさんまで!

おばさんのポケットにはわくわくするものがいっぱい詰まってる。みんなだったら何を出してもらおう?

『おやすみ、はたらくるまたち』(E リヒテ)
シェリー・ダスキー・リンカー / 文 トム・リヒテンヘルド / 絵 福本 友美子 / 訳 ひさかたチャイルド



こうじげんばで、いっしょうけんめいにはたらいているブルドーザーやショベルカー。いちにちじゅう、げんきにうごきまわってたくるまたちも、よるになるとエンジンをとめて、つかれたからだをやすめます。くるまたちは、どんなゆめをみるのかな…。



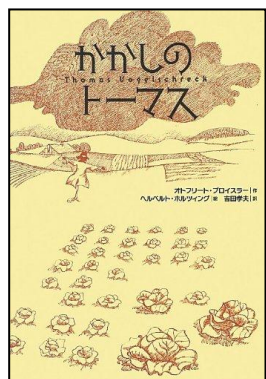
Y (よみもの)

『がっこうにんじゃえびてんくん えびてんききいっぱつ!』
(Y913 ムラカ) 村上 しいこ / 作 岩崎書店



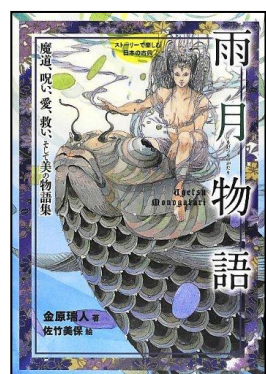
カズキのクラスには本物のにんじゃがいる。それは、えびてんくん! ある日えびてんくんは、クラスメイトのなつみちゃんが、がっこうをやすんでいるわけをしらべること。カズキは、にんじゃみならいにしてもらって、えびてんくんといっしょになつみちゃんの家に行くこと…。くすくすわらえる楽しいおはなしだよ。

『かかしのトーマス』(Y94 プロイ)
オトフリート・プロイスラー / 作 さ・え・ら書房



キャベツ畑に立っているかかしのトーマスは動くことやおしゃべりをする事ができません。そんなトーマスの楽しみは畑にぐる動物たちの話し声を聞いたり、自然とふれ合うことです。毎日新しい発見をしながら喜んだり悩んだりするかかしの成長物語。

『ストーリーで楽しむ日本の古典 雨月物語』
(Y913 カネハ) 金原 瑞人 / 著 岩崎書店

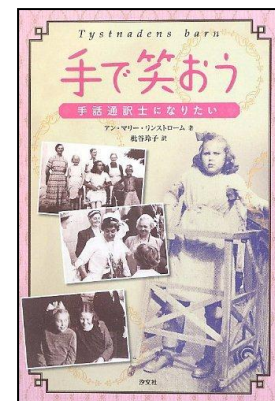


江戸時代に書かれた古典「雨月物語」。古典というと読みにくそう…と感じる人もいるかもしれせん。この本の登場人物は、ある高校の文芸部員9人。部活動で、「雨月物語」9編を1人1つ担当し、自分なりに書きなおして発表することになりました。現代に置きかえてみたり、落語にたとえてみたりと、どの話も個性ゆたか。それぞれの感想にも注目です。



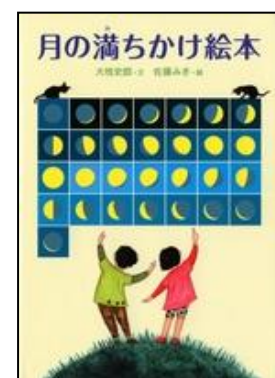
B (そのた)

『手で笑おう 手話通訳士になりたい』(B28 リンス)
アン・マリー・リンストローム / 著 汐文社



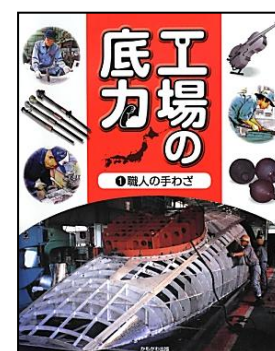
アンりょうしんの両親しやはろう者き(耳の聞こえない人)です。両親とのコミュニケーションは手話しゅわを使います。健聴者けんちやうしや(耳の聞こえる人)のアンは、大人になると、ろう者と健聴者をつなぐ仕事しごとがしたいと思うようになりました。幼いころの病気びやうきで歩くことができないアンですが、夢に向かつていっしょうけんめい進すすんでいきます。スウェーデンほんとうに本当にいた女おんなの人の話はなしです。

『月の満ちかけ絵本』(B44 オオエ)
大枝 史郎 / 文 汐文社



毎日太まいにちふとったりやせたりして形かたちを変える月つき。三日月の前日みかづき ぜんじつに見える「二日月」、夜おそくに昇のぼるため寝て待つことにした「寝待月ねまちつき」など、実はいろいろな名前なまえを持っています。昔むかしの人たちは、どんなふうつきに月を見ていたのかな? 楽しい「月観察」をおしえてくれる1冊です。

『工場の底力 1 職人の手わざ』
(B50 コウジ) かもがわ出版



日本にほんには、ものづくりのたか高い技術ぎじゅつで世界中から注目せかいじゅう ちゅうもくされている中小工場ちゅうしょうこうじやうがたくさんあります。高品質こうひんしつなものをつくり続けるため、いろいろな努力どりよくと工夫くふうをかさねています。ものづくりに情熱じやうねつをかける工場と、そこではたらく職人しよくにんたちのすがたを紹介しょうかいしています。

冬によみたい！

あったか〜い本



『おひさまパン』

エリサ・クレヴェン／作・絵 江國香織／訳 金の星社（Eクレベ）

寒い冬がやってきて、みんな家の中でうんざりしています。そこでパン屋さんは小さなおひさまをつくることにしました。おひさまの形のパンは、いいにおいと一緒^{いっしょ}にみんなにしあわせ^{はこ}を運びます。

『なべぶぎょう いっけんらくちやく』

穂高順也／文 亀澤裕也／絵 あかね書房（Eカメザ）

町で困ったことがあったなら、なべぶぎょうに相談^{そうたん}です。なべぶぎょうの大岡裁^{おおおかさば}きで事件^{じけん}はいっけんらくちやく！おもわず「にえた！」と言いたくなるおはなしです。



『はなこ 野の花 野のきつね』

しんきみこ／文 なかいたもこ／絵 福音館書店（Y913シンキ）

きつねのはなこは“てならいちょう”で、変身^{へんしん}の修行^{しゆぎょう}中^{ちゆう}です。人間^{にんげん}の子どもたちと仲良^{なかよ}くなりたくて、がんばるはなこの姿^{すがた}がとてもかわいらしい、やさしい気持ち^{きもち}になれる物語^{ものがたり}です。

『かんたん！かわいい！ひとりでできる！ゆびあみ』

寺西恵里子／著 日東書院本社（B59テラニ）

あたたかい小物^{こもの}がほくなる季節^{きせつ}。自分^{じぶん}でかわいい小物がつく^{つく}れたら素敵^{すてき}です。作り方が写真^{しやしん}つきでていねいに説明^{せつめい}されているので、初めて^{はじ}でもきつと上手^{じょうず}に作れるはず！

